

第3学年3・4組女子 保健体育科学習指導案

1 単元名 「ダンス（創作ダンス）」

2 指導観

○ ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流によって仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動である。また、仲間とともに協力し合って踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

創作ダンスは、表したいイメージや思いを自由に身体で表現することにより、豊かな感性や創造性を育てることができる。さらに、仲間とコミュニケーションをとりながら、考え工夫しあい、表現したり、見せ合ったりしてお互いに良さを認め合いながら、創作する楽しさや喜びを味わうことができる教材である。

○ 本学級の生徒は3年3、4組の女子36名である。ダンスの授業は一学年、二学年で現代的なリズムのダンスを学習しており、意欲的に取り組む生徒が多い。ダンスについてのアンケートでは、1、2学年でのダンスの授業は、『好き』（どちらかといえば『好き・得意』を含む）が82%、『嫌い』（どちらかといえば『嫌い・苦手』を含む）が18%であった。『好き・得意』な理由としては、「音楽に合わせて踊るのが楽しい・ダンスが得意・ステップを教え合いながらできるのが楽しかった」という理由が多く、中には苦手だけどみんなと踊るのは楽しいから好きだという生徒もいる。『嫌い・苦手だ』の理由としては、難しい・人前で踊るのが恥ずかしいという理由があった。今回、創作ダンスは初めての挑戦となり、「楽しそう」と答えた生徒は71%で、「難しそう・嫌だ」と感じると答えた生徒は29%であった。「難しそう・嫌だ」の理由としては、「初めてだからよく分からない、人前で踊るのが恥ずかしい」が多かった。表現することへ苦手意識を持っている生徒が多い。

○ 本単元においては、自分たちが決めたテーマに沿ってイメージを膨らませ、それをダンスで表現し相手に伝えることをねらいとする。そのためにまず第一次では、表現の仕方を理解し習得することができるようにする。また、対極の動きや多様な動きなどの動きをテーマに沿って表現できるようペアやグループで学習を行うようにする。第二・三次では、『桃太郎』をダンスで表現することに挑戦する。第二次では、鬼ヶ島へ退治に行く場面を「なか」とし、ダンスの創作に入る。その際に第一次で既習したことを使って表現できるようにする。また交流会を行って互いによりよい動きやアドバイスを交流し合い、よりよいダンスを創作できるようにする。さらに「はじめ」と「おわり」をつけ桃太郎ダンスを完成させる。イメージに合った動きを仲間と共に表現し、伝える楽しさを味わわせたい。第三次では、まとめを行う。発表会を行った後、鑑賞会を行い、大きな振り返りを行う。

3 目標

○ 創作ダンスの楽しさを味わうことができるように、積極的に取り組み、仲間と協力しながら学習を進めるようとしている。 【関心・意欲・態度】

○ 作品の完成に向けて話し合いや教え合いをしながら、イメージを膨らませ、練習の仕方や発表の仕方を工夫することができる。 【思考・判断】

○ 表したいイメージをとらえ、イメージに合った動きを表現し、仲間と共に動きを表現することができる。 【技能】

○ 創作ダンスの特性、表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。 【知識・理解】

4 単元計画（全14時間）

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価規準
一	1 ①	1 オリエンテーションを行う。 (1)単元の見通しを持つためにオリエンテーションを行う。 ・創作ダンスの特性やねらいの確認 ・学習の進め方の確認 ・グループ決め	表現の仕方を理解し、様々な表現をすることができるようにする。 ・創作ダンスの特性や成り立ちを理解させる。 ・創作ダンスをイメージさせるために映像を見せる。	・創作ダンスの特性や成り立ちについて理解するために意欲的に取り組もうとしている。 (関・意・態：様相観察)
	2 ②	(2)表現の仕方の具体例をもとに踊る。 A. 緩急強弱を付けて表現 B. 対極の動きの連続 C. 多様な動き D. 集団の動き E. ものを使う	・様々な表現の仕方を理解させるために、実際にA. B. C. D. Eの動きを模範し踊らせる。 ・Dでは、空間の群構成を工夫させる。	
	3 ①	(3)イメージ課題で踊る。 ・「台風」「タンポポの綿毛」	・既習事項を想起させるために掲示物を準備する。	・イメージをとらえ表現している。 (技能：様相観察)
二 (本時3/8)	1 ①	2 桃太郎を創作ダンスで表現する。 (1)F. はこびとストーリーについて理解する。	イメージを自由に表現できるようにする。 ・「桃太郎」の話を想起させるために紙芝居を読む。 ・「桃太郎」での「はじめーなかーおわり」を考えさせ、「桃太郎」ダンスの創作に入る。	・動きを大きくしたり感じを込めたりして踊り、イメージにあった動きを表現できる。 (技：様相観察)
	2 ②	(2)鬼退治の場面のダンスを創作する。 ・撮影した動画を見て、より良くなるようにさらに、工夫をし完成させる。 ・交流会を行う。	・イメージを持ちやすくするためにイメージ図を用いる。 ・よりよいダンスを創作させるために、ダンスの撮影を行い、さらに工夫できるようにさせる。 ・交流会を行い、互いにより点を伝えたり、アドバイス行わせる。	・進んで意見を出すなど意欲的に学習を進めようとしている。 (関：様相観察)
	3 ⑤	(3)桃太郎ダンスを完成する。		・他のグループのよいと思った点を見つけ積極的に発表している。 (関：様相観察)
三	1 ①	3 まとめを行う。 (1)発表会を行う。	表現したいことを相手に伝えられるよう工夫することができるようにする。 ・「桃太郎」を自由に表現し相手に伝えられるようにするために発表会を行う。	
	2 ①	(3)鑑賞会を行う。 単元学習を通して、自己の学習状況の変容を記述する。 【大きな振り返り】	・発表会のビデオを鑑賞し、創作ダンスの大きな振り返りを行う。	・グループや自分の取り組みや達成状況を振り返りカードを参考に判断できる。 (思：振り返りカード)

5 本時 平成30年11月9日(金) 第5校時 二次の2

6 本時の主眼

鬼退治をする場面のイメージをとらえ、仲間と共に表現することができる。

7 振り返り活動を仕組む授業作りの工夫点

自分たちの動きを見るために動画の撮影を行う。

既習事項を想起させる掲示物を準備する。

交流会を行い、よい動きやアドバイスを発表させる。

8 準備 振り返りシート・CD・CDデッキ・掲示物・ホワイトボード

9 本時の過程

(4観点) 【関】【思】【技】【知】

段階	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価の観点(方法)	形態	配時	
つかむ / さぐる ・ 深める / まとめる ・ 振り返る	1 準備体操を行う。 (1) 体育大会のダンスを踊る。	○生徒の健康状態を把握し、安全に活動するための準備運動をしっかりと行えるよう、巡回しながら声をかける。 ○楽しく解放的な雰囲気を作るために、体育大会で踊ったダンスを動きを大きくしたり、声を出したりして踊らせる。		一斉	10	
	2 あいさつ・健康観察を行う。			一斉	1	
	3 前時を振り返り、本時の学習の見通しを立てる。 (1) めあてを確認する。	○既習事項を想起させるために掲示物を掲示する。			一斉	4
	鬼退治の場面のダンスをよりよくしよう。					
	(2) 各班で振り返りシートを確認する。	○巡回指導を行い、必要に応じてアドバイスを行う。			班	
	4 練習をする。	○お互いにより動きやアドバイスを交流させる。			一斉	12
	5 交流会を行う。 ・前時の発表からさらに表現で工夫したところを伝えた後、発表する。	○見る視点を明確にさせるために、発表する前に工夫している点を伝えさせる。 ○振り返りで自分たちの変容が分かるように、タブレットでの撮影を行う。	○イメージをとらえ表現することができる。【技】(様相観察)		一斉	12
	6 班ごとに振り返りを行う。				班	5
7 整理体操をする。	○次時への意欲を持たせるために本時の反省を踏まえて次回の内容を伝える。			一斉	3	
8 次時の確認をする。				一斉	2	